

特集

Feature



秋の趣味探しにもつながる、中国の伝統文化「非遺」の体験。

今回は、拓印や香作り、絨繡などの催しと、常設で文化に触れられる2つの施設を紹介します。

後編

上海大世界伝芸中心

非遺手作り講座 10/10(土)～11(日) 11～20時

拓印 / 紙藤編み / 茶芸 / 掐絲琺瑯
/ 盤扣 / 和合香など



重慶南路の「上海大世界伝芸中心」では、10月後半も伝統工芸や暮らしの技に触れられる無料講座を開催。「上海細拓」は、古器物の文様や古文字を紙に写し取る拓印。紙製のひもを編む「紙藤編み」では、籠やミカン・魚形の飾りなどを作る。金属線で模様を描き色を入れる「掐絲琺瑯」、チャイナドレスの飾りボタン「盤扣」、香料を組み合わせる「和合香」も揃う。茶芸では、茶の見分け方や入れ方、味わい方に親しめる。いずれも無料のシリーズ講座。同微信公式アカウントから事前申込が必要で、対象年齢などは申込時に確認を。



上海大世界伝芸中心

📍 重慶南路308号5～6階(黄浦区文化館内)

上海細拓:10/19・26、14時～ 紙藤編み:10/20、14時～

茶芸:10/21・28、12時半～ 掐絲琺瑯:同日14時～

盤扣:10/22、18時半～ 和合香:10/23、14時～

常時開設・非遺体験施設



黄浦区非遺展示ホール

上海大世界伝芸中心が運営する非遺の展示拠点。実物や映像を通じて黄浦の伝統工芸や暮らしの文化に触れられ、テーマ展も開かれる。見学無料、毎日10～16時。訪問前に展示内容や休館情報の確認を。

📍 重慶南路308号5階502室



非遺伝習教室

展示ホールと同じ階にある、上海大世界伝芸中心の講座会場。拓印や編み物、香作りなど、講師に教わりながら伝統の技を手作業で試せる。開講日や内容は月ごとに異なり、参加は事前申込制。催しの告知を確認しよう。

📍 重慶南路308号5階503室×建国中路付近

浦東非遺体験館

上海絨繡ミニ体験

毎週火～日曜(予約制)



浦東非遺体験館に隣接する「上海絨繡非遺体験空間」では、羊毛の糸で絵柄を刺す絨繡の制作を体験できる。講師に針の運び方を教わり、ハートなどの基本図形からミニ作品作りに挑戦。初めての人も、糸の色や太さ、一本ずつ重ねる針目の表情を確かめながら手を動かせる。体験は無料の予約制で、火～日曜に1日3回、各回10人を受け付ける。予約は毎週月曜10時から当週分を開始。体験の前後には、実物や映像、昔の暮らしを再現した小さな場面展示を通して、浦東の芸能や手工芸を紹介する館内も見学できる。

浦東非遺体験館・上海絨繡非遺体験空間

📍 浦東新区錦繡路2769号(浦東新区文化芸術指導中心東1階)×高科西路
毎週火～日曜、9時半～11時半、13時半～15時15分、15時15分～17時

常時開設・非遺体験施設



浦東非遺体験館・館内展示

浦東の伝統芸能や手工芸、食文化を紹介する常設施設。館内には工芸品などの実物や映像、昔の暮らしを再現したミニチュア展示が並ぶ。音や光を組み合わせた体験型展示やホログラム映像も取り入れ、地域で受け継がれてきた技や文化に触れられる。絨繡の制作体験に参加する前後に、館内を巡ることもできる。見学無料。開館は火～金曜9～18時、土日曜・祝日は9～20時。月曜休館。

📍 浦東新区錦繡路2769号東1階×高科西路

